

授業の概要

歯科医療の概要, 歯科医療における歯科技工士の位置づけ, 医療技術者としての心構えなどを学修する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 歯科技工管理学 (医歯薬出版)
最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学(医歯薬出版)
- 参考資料：最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)
プリント配付
- 授業時間：木曜日 18：00～21：15 (4月4日)
月曜日 18：00～19：35 (4月8日～7月22日)
- オフィスアワー：木内 浩子 (kiuchi.hiroko@nihon-u.ac.jp) 月曜日 16：00～17：00
高津 匡樹 (takatu.masaki@nihon-u.ac.jp) 月曜日 16：00～17：00
松村 英雄 (matsumura.hideo@nihon-u.ac.jp) 月曜日 16：00～17：00
田中 秀樹 (tanaka.hideki@nihon-u.ac.jp) 月曜日 16：00～17：00
川戸 貴行 (kawato.takayuki@nihon-u.ac.jp) 月曜日 16：00～17：00
- 成績評価：定期試験(100%)で評価する。
- 注意事項：必ず教科書を持参し、必要事項はノートに記録すること。
- 授業方法：板書とスライドによる講義を行う。
- 準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。
- 準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。
- 実務経験：木内浩子：歯科診療所で主任歯科技工士を務めた臨床経験を基に、歯科技工士の立場から、補綴装置を製作する上で、材料、器械、器具が、どのように実際の臨床で活かされるか実習を通して教えていく。
高津匡樹・松村英雄：現在、日本大学歯学部補綴学講座に在籍しており、日々の臨床経験をもとに歯科医療における歯科技工士の役割について講義を行う。
田中秀樹・川戸貴行：現在、日本大学歯学部衛生学講座に在籍しており、衛生学の立場から歯科技工士に関わる衛生管理や健康政策について講義を行う。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月4日 木内 浩子	1. 歯科技工とは何か	・これから学ぶ歯科技工学についての理解を深めることができる。
第2回4月4日 木内 浩子	1. 歯科技工とは何か	・これから学ぶ歯科技工学についての理解を深めることができる。
第3回4月8日 高津 匡樹	2. 医療と歯科医療 (教)pp. 1-10	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の目的を説明できる。 ・インフォームドコンセントについて説明できる。 ・EBMの必要性を説明できる。 ・QOLとADLの関連性を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 他職種との連携とチーム医療について説明できる。 ・ 歯科医療の特殊性について説明できる。
第4回4月15日 松村 英雄	3. 歯科医療の目的 4. 歯科技工学とは (教) pp. 10-21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医療の目的を説明できる。 ・ 歯科医療機関の役割を説明できる。 ・ 歯科技工操作の流れを説明できる。 ・ 歯科技工学の体系および教育について説明できる。 ・ 医療関連職種について理解する。
第5回4月22日 松村 英雄	4. 歯科技工学とは 5. 歯科技工士の役割と業務 (教) pp. 21-32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科技工学の教育および国家試験について説明する。 ・ 医療関連職種について説明できる。 ・ 歯科技工士の業務を説明できる。 ・ 歯科技工士に必要な倫理を述べることができる。 ・ 日本と世界の歯科技工士の現状を説明できる。
第6回5月13日 木内 浩子	6. 顔の形態と機能ほか 7. 口腔の形態と機能ほか (教) pp. 33-40	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔の形態と機能を説明できる。 ・ 歯と歯列の形態を概説できる。 ・ 歯と歯周組織の構造を説明できる。 ・ 口腔の機能を概説できる。
第7回5月20日 木内 浩子	8. 歯の異常ほか 9. 歯と歯周組織の疾患ほか 10. 歯科疾患の現状 (教) pp. 41-52	<ul style="list-style-type: none"> ・ 硬組織疾患の種類と特徴を説明できる。 ・ 齲蝕発症の要因を列挙できる。 ・ 歯周組織疾患の種類と特徴を説明できる。 ・ 歯の喪失に伴う歯周組織の変化を説明できる。 ・ 歯科疾患の現状を理解する。
第8回5月27日 木内 浩子	11. 硬組織疾患と歯科技工ほか 12. 歯の欠損と歯科技工 13. 歯列不正と歯科技工ほか (教) pp. 53-69	<ul style="list-style-type: none"> ・ 硬組織疾患の治療に適用する修復物と補綴装置の種類を列挙できる。 ・ 硬組織疾患の治療に適用する修復物と補綴装置の特徴を述べることができる。 ・ 歯の欠損に適用する補綴装置の種類を列挙できる。 ・ 歯の欠損に適用する補綴装置の特徴を述べることができる。 ・ 歯列不正に適用する装置の種類と特徴を説明できる。 ・ 口腔外科疾患の治療後に適用する装置の種類と特徴を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第9回6月3日 木内 浩子	14. 歯科技工業務の運営 (教)pp. 77 - 83	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科技工業務の運営について説明できる。 ・ 歯科補綴装置等の品質管理と品質保証を説明できる。 ・ 歯科補綴装置等の品質管理と品質保証を説明できる。 ・ 歯科補綴装置等のトレーサビリティを説明できる。
第10回6月10日 木内 浩子	15. 歯科技工の作業環境 (教)pp. 73 - 77	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科技工を行うのに適切な作業環境を説明できる。
第11回6月17日 松村 英雄	16. 歯科法医学と歯科技工 (教)pp. 69-72	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯、修復物および補綴装置による個人識別について説明できる。 ・ 修復物と補綴装置に対する刻印（マーキング）について説明できる。
第12回6月24日 田中 秀樹	17. 歯科技工における衛生管理 (教) pp. 89-92	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科技工士の健康管理について説明できる。 ・ 歯科技工作業における感染防止を説明できる。
第13回7月1日 川戸 貴行	18. 加齢現象ほか (教) pp. 93-96	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔が全身の健康に及ぼす影響を説明できる。 ・ 加齢現象、咀嚼と健康について説明できる。 ・ 歯および口腔の衛生管理について説明できる。
第14回7月8日 川戸 貴行	19. 健康政策 20. 在宅歯科医療ほか (教) pp. 96-106	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の健康政策を説明できる。 ・ 保健衛生法規について説明できる。 ・ 在宅歯科医療の動向について説明できる。 ・ 在宅歯科医療における歯科技工士の役割を説明できる。
第15回7月22日 笹井 義宣	21. 災害時の歯科医療 ほか (教)pp.100-106	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の歯科医療救護について説明できる。 ・ 災害時における歯科技工士の役割を説明できる。